

“了₂”のイメージ・スキーマ
A Study on the Image Schema of Chinese Particle “le₂”

大島吉郎
OSHIMA Yoshiro

Abstract: “了₂”の構文スキーマを<S+了₂>とし、構文的意味を「因果関係における結果義の表示」とする。“了₂”の射程（心的走査の範囲）が段落全体に及ぶことから、話者の視点は一連の事態を俯瞰するメタ認知タイプの「傍観者の俯瞰型視点」であることを述べる。段落に陳述、描写される事態は一つのまとまりのある「物語・エピソード」であり、“了₂”は「物語・エピソード」に対して句点の役割を果たしていることを主張する。

Keywords: “了₂” イメージ・スキーマ 段落 傍観者の俯瞰型視点 メタ認知

目次

0 はじめに

1 先行研究

- 1.1 吕叔湘主编《现代汉语八百词(增订版)》1999 商务印书馆、(pp. 351-358)
- 1.2 中国社会科学院语言研究所词典编纂室编《现代汉语词典(第七版)》2016 商务印书馆、(pp. 788)
- 1.3 郭继懋 2002 “了₁”与“了₂”的差异
- 1.4 刘月华・潘文娉・故韓 2019《实用现代汉语语法(第三版)》、商务印书馆(pp. 379-392)
- 1.5 王伟 2021《说“了”》、学林出版社
- 1.6 范晓蕾 2021《普通话“了₁”“了₂”的语法异质性》、北京大学出版社
- 1.7 邵洪亮 2023《助词“了”》、北京语言大学出版社

1.8 小結

2 段落からみた“了₂”

2.1 構文スキーマ

2.2 発話時現在

2.3 一まとまりの事態に対するまとめ・結論

2.4 ある認知的段階への到達

- 2.5 段落（物語・エピソード）全体
- 2.6 [+心的走査]
- 2.7 [-アスペクト]
- 2.8 [+モダリティ]
- 2.9 認知的順序
- 2.10 因果関係
- 2.11 前景化
- 2.12 傍観者の俯瞰型視点
- 2.13 存在する事態に対する観察と主観的判断
- 2.14 メタ認知
- 3 おわりに
- 4 余論：「物語・エピソード導入機能」としての<S+了₂>
- 引用書目
- 参考文献

0 はじめに

本稿は“了₂”の統語的、認知的意味（イメージ・スキーマ）を明らかにすることにより、“了₁”との共通点、並びに差異について指摘しようとするものである。

“了₂”は単文の文末、あるいは複文の末尾はもちろんのこと、前段末尾にも用いられ（以下<S+了₂>と称する）、“了₂”を用いることによって発話の内容に対する話者の観点は「発話時現在」を表すものと考えられる。そのため、何らかの心的態度（モダリティ）を含むことから、感嘆詞“啊a”が後接し、合音の結果“啦la”と表記される。さらに“噍lei”、“喽lou”、“咯lo”¹などへの変換形式も見られる²。

“了₂”を用いた単文、あるいは複文について、文単位ではなく、一つの段落を単位として見ると、段落冒頭に現れることは極めて少なく、多くの場合、段落末尾に現れる傾向にあることがうかがわれる³。本稿は“了₂”が表す意味、機能について、文単位で見るのではなく、<S+了₂>が用いられる段落を「一つのまとまりのある記述の単位（物語・エピソード）」としてとらえ、その単位の中で“了₂”がどのような意味を表し、いかなる機能

1 《現代汉语词典(第七版)》(pp. 840)の釈義と例文を引用する。“咯・lo 𠵼”用法如“了”(・le), 语气较重; 当然~|点名~, 大家安静点儿。

2 马希文(1983)参照。

3 三宅登之(2013:37)は「同じ実現済みの出来事を述べる際でも、“V了O”と“VO了”では、その用いられ方、即ち実際の談話における使用分布に相違が認められる。“VO了”は、談話において新しい話題を導入するときに、まずその新たな話題全体を概略的に紹介する場合に用いられる。一方“V了O”は、ある話題が既に導入済みで、より細かい情報を述べる際に用いられる。」と述べ、“了₁”と“了₂”の用法上の差異を指摘する。

を担うのか検討することにした⁴と考える⁴。

そのためにもまず代表的な先行研究を概観することにした。

1 先行研究

1.1 吕叔湘主编《现代汉语八百词(增订版)》1999 商务印书馆、(pp. 351-358)

吕叔湘(1999)は“了”を“了₁”と“了₂”に分け、「了₂」用在句末, 主要肯定事态出现了变化或即将出现变化, 有成句的作用。(“了₂”は文末に用い、すでに事態に変化が起きている、あるいはじきに変化が起きそうな状態になっていることを、話者の視点から認識、確認したことを主に表し、文に完結性をもたらす: 筆者訳)」と述べる⁵。

1.2 中国社会科学院语言研究所词典编纂室编《现代汉语词典(第七版)》2016 商务印书馆、(pp. 788)

同書は中国語を母語とする中国語ネイティブの利用を念頭に置いて編纂、記述された辞典であることは贅言を要さない。一方、この辞典における釈義を利用しようとする外国人学習者にとって、当該釈義をネイティブと同じく理解できるかという本質的な問題があることも指摘しなくてはならないであろう。例えば同書の“表示变化或出现新的情况”という釈義における“变化”、“出现新的情况”の概念をどう解釈し理解するのかは、ネイティブであればさほど時間を必要としないであろうが、日本人学習者にこの説明は十分であるかという疑問が生じる⁶。

また例えば、“下雨了₂。”という例を見て、この例文に付随してどのような状況、情景、場面を思い浮かべるかは、ネイティブと外国人学習者の間に埋めがたい大きな溝、あるいは超えられない高い壁があるであろうことは想像に難くない⁷。

⁴ <形容詞+了₂>: “好了 / 糟了 / 差不多了 / 老了” など、また <動詞+了₂>: “得了 / 算了 / 够了 / 明白了 / 知道了 / 走了 / 来了” など本稿の考察の対象とはしない。

⁵ 本稿は“有成句的作用”を「文に完結性をもたらす」とひとまず訳したが、“V了O了”のような構造的例にとどまらず、「了₂」を用いることにより、提示された情報をひとまとまりのエピソードにまとめ上げる、あるいは「了₂」に先行する内容が一つのエピソードであることを表す」という意味に解釈することが出来ると考える。例えば、“中国的豆腐也是很好吃的东西。世界第一。永别了。”(《吃货》104)の“永别了。”から“了”を取り去ると文としての意味が変わるのはもちろんであるが、ひとまとまりのエピソードの結末(締めのことば)としての働きを成さないことも明らかである。会話における“你怎么了?”は相手の異変に気付いた話者からの発話であるが、発話時の異変が「なぜ」生じたのか、聞き手の様子、状態に驚き、訝しがり、当惑などの感情を伴って問い添え発話である。“了”が発話を成立させるために不可欠の要素であるのは、「文」として“你怎么了?”が不完全であることに加え、発話時に気付いた「異変」という「結果」に対する「原因」を引き出し、エピソードを完結させる働きを想定することが出来る。因果関係における結果と原因の反転と見做すことが出来る。

⁶ 小学館『中日辞典(第3版)』2016年刊(pp.919)は「《文末や文中のポーズを置くところに用い、状況の変化や新しい事態が発生したことを確認したり、文を言い切りにするなどの働きをもつ》」と記述する。

⁷ “雨下起来了₂。”、“雨住了₂。”また“不下雨了₂。”などと対比的させながら状況を理解することも考えられる。

(以下引用)

了・le ② 用在句子的末尾或句中停顿的地方，表示变化或出现新的情况：

- a) 表示已经出现或将要出现某种情况：下雨～ | 春天～，桃花都开～ | 他吃了饭～ | 天快黑～，今天去不成～。
- b) 表示在某种条件之下出现某种情况：天一下雨，我就不出门～ | 你早来一天就见着他～。
- c) 表示认识、想法、主张、行动等有变化：我现在明白他的意思～ | 他本来不想去，后来还是要去～。
- d) 表示催促或劝止：走～，走～，不能再等～！ | 好～，不要老说这些事～！

(引用以上)

1.3 郭继懋 2002 “了₁”与“了₂”的差异

郭继懋(2002)では、“了₁”は“一个过程”(ある一つの動作・段階を表す動詞)に接辞しプロセスの実現を表すのに対して、“了₂”は“事件”(ある一まとまりのイベントを表す文の末尾)に付いてイベントの実現を表すが、両者は肯定、否定の文脈において、決定的に異なると述べる。例えば、“他打电话了(彼は電話をかけた) / 他不打电话了。(彼は電話をかけるのをやめた／彼は電話をかけないことにした)”は成立するが、“了₁”は“他说了一会话(彼はしばし話をした) / *他没有说了话 / *他不说了话。”のように、実際の動作が出現、存在しないと用いられない点が異なると指摘する。

そして、“了₂”が果たす機能を“(前略)所以我们觉得，应该把‘了₂’的作用进一步概括为，发生了一些听话人不知道的新情状，由于当前的某种需要，其中有一个情状应该告诉听话人，‘了₂’就表达了肯定这个新情状的发生的语气。”(聞き手が知らないある何らかの新たな状況が生まれ、その時点において何らかの必要に応じ、その中の一つの状況は聞き手に伝えられるべきであると判断されたことにより、“了₂”は新しい状況の発生を認識し確認するというモダリティを表すのであると、我々は一步進めて“了₂”の意味機能を概括すべきと考えるのだ：筆者訳)と述べる。

1.4 刘月华・潘文娒・故韡 2019《实用现代汉语语法(第三版)》、商务印书馆(pp. 379-392)⁸

刘月华・潘文娒・故韡(2019:379-392)は“语气助词‘了’”について、对外漢語教學の観点から有益で現実的な指摘を行う。同書は“了”を“了₁”、“了₂”とせず、「动态助词“了”」、「语气助词“了”」のように区別する⁹。両者の文法的意味を「“动作状态的实现”(動作、状態の実現)」と規定することによる。中でも“有成句、篇章¹⁰的功能”は本稿の主旨を支える重要な指摘であると考えられる。例えば、

(以下引用)

⁸ 初版は1983年、外语教学与研究出版社、全628頁。

⁹ 同書初版では“了₁”、“了₂”のように区別していたものに大きな変更を加えている。

¹⁰ “篇章”の意味を本稿は一つのまとまりを持つ「段落(物語・エピソード)」と解釈する。

（一）语气助词“了”的语法意义和功能

1. 它与动态助词“了”具同样的语法意义，即表示动作状态的实现。所谓“实现”，意思就是“成为现实”，也就是“发生”、“出现”，“实现”意思更宽泛一些。过去一般汉语教材中表示“出现了新的情况”，表示“变化”，也是这个意思。

- （1）事情从未发生到发生（谓语动词多为动作动词）。
- （2）动作由未完成到完成（谓语动词后有结果补语或趋向补语）。
- （3）动作由进行到停止。
- （4）事物的性质、状态发生了变化（谓语动词一般为形容词、状态动词和关系动词）。
- （5）意愿、能力发生了变化（谓语动词多为能愿动词）。
- （6）时间、季节、年龄、数量的更迭变化。

语气助词“了”在对话中出现的较多。人们在对话时，通常要告诉对方一些他不知道的事情，也就是说，通常大多数句子中都包含新信息。语气助词“了”表示“出现新情况”，与一般句子表示新信息有什么不同？我们认为：第一，语气助词“了”用于一个句子的末尾，一般来说，全句整体传达一个新信息，而一般的句子新信息通常在句末；第二，说话人用语气助词“了”告诉对方出现了变化、新情况时，往往有特别的目的，比如引起注意、提醒、劝告、建议，引出问题、评论，有特别的针对性等等。

2. 表示肯定的语气，有成句、篇章的功能。

所谓语气助词“了”有成句作用，是指有些句子去掉语气助词“了”后句子就不完整。语气助词“了”的篇章作用，是指它可以表示一个句子、语段的结束，具有划分开句子和语段的作用。例如当主语、话题不变时，即使一个分句或句子完结了，分句或句末也不宜用语气助词“了”，如果用了语气助词“了”，一个句子或语段将被割断，句子与句子之间将链接不起来。（中略）

总之语气助词“了”有篇章作用，所以即使一个句子结束了，如果话题不变，中间就不能用语气助词“了”。（中略）

下面几种类型的句子必须用语气助词“了”。在这些句子里，语气助词“了”并不增加什么意思，但没有“了”，句子就站不住。

（1）程度副词作补语的形容词谓语句。

（2）在某些形容词作谓语或结果补语的句子中，加上“了”以后形容词都表示不合某种标准，语气助词“了”也是不可少的。此类形容词是“大、小、高、低、肥、瘦、长、短、轻、重、粗、细、咸、淡、厚、薄、宽、窄、早、晚（迟）”等表示形状的形容词。语气助词“了”后还可以加“（一）点儿”、“（一）些”等表示程度的补语。

（二）包含语气助词“了”的句子的结构特点

（三）两个“了”的连用

（四）用“了”的句子的辨析

(引用以上)

これらの指摘、記述はあくまで教学上必要とされる説明を行うための分析、整理であり、なぜそのような言語現象が見られるのか、どのように理解すべきか、という（理論的）根拠について触れるところは無い。

1.5 王伟 2021《说“了”》、学林出版社¹¹

王伟（2021）は、中国語とは“流水句”¹²を特徴とする言語であり、話者から繰り出される発話のフレーズは「存在・出現」と位置付けられ、この「存在・出現」を表す役割が“了₂”によって担われることから、“了₂”の元々の「実現」義から語義が絞り込まれて¹³「已然（完成）」を表すため、“了₂”は“说明‘了’（了₂）”と規定され、“了₁”は“了₂”が契機となって“话题‘了’（了₁）”のように規定されると述べる。“了₁”、“了₂”は文中での出現位置が異なるため、文法的意味にも違いが生じているものの、「存在」義こそが基本的意味であることを主張する。

1.6 范晓蕾 2021《普通话“了₁”“了₂”的语法异质性》、北京大学出版社

范晓蕾（2021）は形態的特徴から“了”を“了₁”、“了₂”に分けることを主張する。“了₁”の典型的機能は「+相対非将来時（句内参照）」「+終結体」、 “了₂”の典型的機能は「+相対非将来時（語篇参照）」「+起始体」であると述べる。そして統語法の観点から両者はなぜ異なる“体（アスペクト）”を表すのか説明を試みるが、明確な回答は得られないとする¹⁴。

1.7 邵洪亮 2023《助词“了”》、北京语言大学出版社

邵洪亮（2023）は“对外汉语教学语法丛书”の1冊として北京語言大学出版社から出版されたものであり、“国家社科基金重大项目成果”の成果でもあることから、一定の権威を与えられているものと考えてよいであろう。同書は對外漢語教学、ならびに研究において高い権威を持つ北京語言大学出版社からの出版であるという意味においても、對外漢語教学に携わる教師、外国人留学生、あるいは海外における中国語学習者に対する“了”の公式見解を示した書とすることができるであろう。“了₁”、“了₂”について同書の見解は以下の5点にまとめられる。

①文中における出現位置は異なるものの“了₁”、“了₂”は区別せず“了”とする。なぜなら両者ともに“实现”義を表すからである。②前景化の標識として用いられる動詞接

¹¹ 中国社会科学院語言研究所に研究員として所属する王伟氏は、沈家煊との共同執筆の論文：沈家煊・王伟（2023）があり、王伟（2021）はその前段として読まれるべき概説であろうと考えられる。

¹² “流水句”は、時系列（“時間順序”）の原則に基づき連鎖的に繰り出された語句が、次々に情報の焦点を新しい語句へと移し替え、途切れることなく陳述を続ける文であると考えられる。本稿は、“了₂”がこの“流水句”における文末の句点の役割を果たすものとする。日本における先行研究には橋本陽介（2020）がある。

¹³ 「拡張」とは主張していない点に注意する必要がある。

¹⁴ 范晓蕾（2024:121-122）参照。

辞の“了”と文末の“了”は密接な関係にある。③文末の“了”は語気詞として文全体を射程にして、示された情報がある何らかの新状況、新情報であることを表すのと同時に、“体”（アスペクト）を表す動詞接辞の“了”と同じ機能を有し、“实现体”（「実現」のアスペクト）を表す。⑤文中に“实现体”を表す成分がない場合、文末の“了”の有無が文のアスペクトに影響を与えることから、文末の“了”は純粋な文末の語気詞であるとは言えない。

1.8 小結

“了”を統一的にとらえようとする立場からは“实现”という文法的意味が提示され、異なる立場においては“了₂”に対して“变化或出现新的情况”のように“变化”を意味の中心に据える傾向がみられる。

統辞法の観点からは文単位で統語の意味分析を行う立場と、“有成句的作用”、“有成句、篇章的功能”のように範囲を拡大して“事件”、“篇章”、“语篇”を単位として統語の意味を見出そうとする立場に分かれる。

本稿は先行研究に示される結論を基に、より体系的な解釈を示そうとするものである。

2 段落からみた“了₂”

本稿は“了₂”を考察するに当たって、“了₂”が射程とする範囲を段落に設定することにしたい。文を分析の単位としても“了₂”の全体像を捉え切れないのではないかと考えるからである。以下、14項目について順を追って分析を進めることにする。

2.1 構文スキーマ

本稿は“了₁”の構文スキーマ<V+了₁+(O)>¹⁵に対して、<S+了₂>を“了₂”の構文スキーマとして設定する。<V+了₁+(O)>は文における述部構造を示し¹⁶、<S+了₂>は単文、複文の前件、複文の後件、単文に相当する連語を表す。例えば、

(01) 有些还是正房后面带着后罩房的三进院落，后院里住着将出阁的闺女。这样的院子也就堪称四合院的经典了。（崔岱远《京范儿》第45页）

(02) 当然，胡同里出现频率最高的门联还是“忠厚传家久，诗书继世长”了，再不就是“忠厚培元气，诗书发异香”。（《京范儿》33）

¹⁵ Vは結果補語、方向補語を伴うこともある。<V+結果補語+了₁+(O)>は持続動詞のアスペクトと同時に、補語が関わる「物語・エピソード」の終結をも含意することが可能であるとしたら、“了₁”と“了₂”を分かつことは難しい。例(06)“逛累了”、“玩儿够了”はただ単に“逛”、“玩儿”について動作・行為が着点に到達した事を表すだけではなく、“逛”、“玩儿”を行うに至った「理由」を踏まえている描写である。事態の発生を意味する「原因・理由」が結果補語に伴うことを考えると、<V+結果補語+了₁+(O)>は<V+結果補語+了₂>との見做すことが可能である（後述：「0 おわりに」参照）。

¹⁶ 郭继懋（2002:180-181）は、“了₁”：“孤立的说明”、“了₂”：“联系的说明”と両者の差異の一端を主張する。

(03) 从型制上分, 文员的门前用箱子型的, 武将的门前用抱鼓型的, 若哪个大门的门墩儿上端坐着一只大狮子, 这里必是王侯府邸了。(《京范儿》36)

例(01)は単文、例(02)は複文の前件、例(03)は複文の後件に“了₂”が用いられている例である。例(01)、(02)、(03)に共通するのは、いずれも何らかの条件を承けての結論であるという点である。

2.2 発話時現在

“了₂”は話者が陳述、描写する文であることから、発話(陳述、描写)内容は「発話時現在」を参照点とする已然の事態であることを含意すると考えられる。例えば、

(04) 打豆浆的材料很便宜: 猪肉皮、生黄豆、胡萝卜、白豆腐干, 再加上些葱、姜、花椒和大料, 齐了。(《京范儿》79)

(05) “我小的时候, 这一片安静着呢。现在可好, 不分白天黑夜, 挤满了旅游的。就感觉吧, 当初的味儿变了。”她像是在自言自语, 又像是在对我说。(《京范儿》代序 14)

(06) 逛累了, 也玩儿够了, 您可以随时坐下来吃点什么。(《京范儿》150)

2.3 一まとまりの事態に対するまとめ・結論

“了₂”が射程とする陳述、描写の範囲は、あるテーマ(話題)に関する一連の経緯を踏まえた「まとめ・結論」であると見做される。上述したように、「一まとまりの事態」とは、先行研究において“事件”、“語段”、“篇章”、“語篇”などの表現が該当する。異なるテーマには異なる“了₂”が用いられ、意味領域を分かち¹⁷。例えば、

(07) 当夏日的骄阳透过红墙边上老槐树浓密遮天的枝叶缝隙洒落下来的时候, 踏着深浅斑驳的光影穿行于古老的南池子, 让人身上那么凉快, 感觉那么舒坦, 仿佛置身于一种久违的侘然之美里。而这份脱俗就在喧嚣的隔壁。经过21世纪初的一次大规模改造, 南池子里那些承载着传奇的老胡同和旧院子已经所剩无几了。而那些花里胡哨的仿古建筑可真不敢说有什么韵味, 而且是漏洞百出。当初的老住户大多外迁, 唯有偶尔回来感受一下这一街陪着自己上学, 伴随自己长大, 亲切得不能再亲切的树荫了。(《京范儿》66)

(08) 也就是在啤酒热后不久, 胡同里的人渐渐忙碌起来, 有闲心在酒铺坐下来慢慢喝的人越来越少了。随着最后几个老酒腻子的离去, 小酒铺淡出了人们的视野。而那些店铺也不知什么时候都变成餐厅或是发廊了。(《京范儿》97)

(09) 《辛丑条约》签订后, 慈禧回蜜, 实行了几项粉饰太平的所谓的“新政”。这其中之

¹⁷ 刘月华・潘文娛・故韓(2019:384)で既に指摘されている通りである。

一就是把王府井北头一片早已荒废的八旗兵练兵场打开，让东安门外街道两旁的小商贩迁进去摆摊做买卖，以显示朝廷重视商政。高墙环绕、铁门紧锁的练兵场改造成了大市场。反正大清也不打算练兵了。东安市场就这么诞生了。(《京范儿》148)

いずれも同じ段落に二つの“了₂”が現れる例である。“了₂”で一旦最初の話題を締めくくり、次のテーマへとつなげて行く話法であることが見て取れるであろう。

2.4 ある認知的段階への到達

ある一つのテーマについて情報を積み重ね、まとめ・結論を提示するのが“了₂”の果たす談話機能であるとすれば、それは何らかの新たな認知を導くことになる。従来の説明、解釈である“表示变化或出现新的情况”を異なる観点から言語化したものである。例えば、

(10) 天亮了，解放了，共产党进了北京城。(《京范儿》158)

(11) 作为一个地名，“龙须沟”已经很难找到了。现在这附近的街道全都改名叫作金鱼池街、金鱼池中区等等。(《京范儿》165)

例(10)、(11)はいずれも<S+了₂>が先行し、後件には前件の原因・理由が述べられている¹⁸。

2.5 段落（物語・エピソード）全体

例えば次の例(12)では“全当是习武练功了。”という「まとめ・結論」には“最初玩鸟的大多是些吃俸禄的八旗子弟。”が前提として認識されている必要がある。一つの段落がまとまりのある「物語・エピソード」¹⁹を描写する単位として機能しているものと考えられる。このような事例がプロトタイプであるとすれば、その拡張型として、「まとめ・結論」に対する前提が非明示的な場合も多く見られる。前掲の例(10)“天亮了，解放了”は、中国語母語話者に共有されているリテラシーとでも呼ぶべき百科事典的知識であり、自明な事柄、歴史的事実として、むしろ詳述することは避けられている。

(12) 最初玩鸟的大多是些吃俸禄的八旗子弟。他们精心地喂鸟、驯鸟，形成了很多玩鸟的规矩，就连什么样的人养什么鸟都有专门的说道。比如讲“文百灵、武画眉”。儒雅之士

¹⁸ “了₂”以外に「まとめ・結論の提示」に関わる語に副詞“才”(～して、ようやく…)を上げることが出来る。“才”は“呢”と共起するが、“了₂”は“就”と呼応関係を作り、“就”は“才”と対義関係にあるため、“才”と“了₂”は共起しにくい、との理由と考えることが出来る。例えば、“泡馍的灵魂是那碗汤。那并不是什么传了几十年的老汤，而是用现宰的羊炖出来的鲜汤。羊讲究用蒲城、白水、韩城一带的羊，肉质鲜嫩丰腴，味道不膻不腻。头天下午把骨头下进锅里加上二十多种调料熬上，傍晚时分投进肉去，直煮到次日黎明，肉烂且香、汁浓汤酽之时才熬熟成。五百斤肉也就出三四百斤汤，能不香吗？”(《吃货》185)

¹⁹ 「物語・エピソード」を「ストーリー」と言い換えることも出来る。

讲究在家伺候净口百灵，要给自己的鸟找另一只音色好的鸟当老师，直驯得它能顺顺溜溜一口气哨出规矩的“十三套”，才算玩儿到家。行伍出身的爷讲究大清早起来遇画眉。天刚蒙蒙亮，就得爬起来穿上衣裳，摆开武架势甩开膀子摇晃着俩沉重的大鸟笼子行走个十几里去后海或是护城河畔遇鸟儿，全当是习武练功了。（《京范儿》195）

2.6 【+心的走査】

“了₂”は、前述のように「段落（物語・エピソード）全体」を踏まえ「まとめ・結論」を導く、あるいは「まとめ・結論」に到る起点・着点のプロセスを想定できることから、有界的（bounded）であると認められる。「段落（物語・エピソード）全体」に有界性（boundedness）が認められるとすれば、それに関わる“了₂”も有界的であり、「段落（物語・エピソード）全体」を対象・視野に心的走査（mental scanning）が実行されていることが理解されよう。

心的走査で顕著な例は<数量表現+了₂>ということが出来るであろう。例えば、次の例(13)では初版（起点）から増訂版出版（着点）までの10年間を心的走査して（たどって）いる。例(14)は、子どものころから住み慣れた古い町並みの伝統的住宅を離れ、新しい高層住宅に移り住んだのは既に60がらみの年齢になっていた時間的経緯を述べる。

(13) 可也有朋友说了，所谓“京味儿”也不光是食物的味道，还包括北京生活方方面面特有的那种调性。没错，北京作为千年古都自有其独特的气象，常年生活在京城的老街坊们也带着些跟别处人不大一样的派头。于是我观想着心底那个真切的北京，走访了多位颇有些京范儿的人物，怀着对京城深入骨髓的情感，默默地想，默默地写，出版了《京范儿》，一晃距离这本书出版也过去十年了。（《京范儿》增订本序言 1-2）

(14) 和北京大多数新建的现代化社区不同，金鱼池社区有个特点，就是这儿的住户都是打小一起长大，几十年低头不见抬头见的老街坊，彼此有种亲密的热乎劲儿。迁进新居那年，小姐子当年的玩伴们已是六十来岁的人了，他们大半辈子都没离开过这片地界儿，他们一起亲历了新中国的发展，一起住进了做梦都想不到的高级洋房。（《京范儿》164）

2.7 【-アスペクト】

“了₂”は「段落（物語・エピソード）全体」を対象に心的走査を行うため、“了₁”のような動作・行為に対する心的走査とは射程が異なるため、“了₂”にアスペクト性は認められない。

2.8 【+モダリティ】

刘月华・潘文娱・故韓（2019:383）が指摘するように、“了₂”を用いることにより“引起注意、提醒、劝告、建议，引出问题、评论，有特别的针对性”などが特別な目的として

含意される。具体的な例は刘月华・潘文娛・故韡（2019:383）を参照されたい。

老舍著《龙须沟》では文末の助詞として“了”以外に、“啦”がもっとも多く 122 例、“喽”は 6 例が見られ、“嘹”も 2 例用いられて、話者のモダリティの標識となっている²⁰。例えば、

(15) 赵老 好姑娘！好姑娘！这碗热水救了老命喽！（喝）（《龙须沟》11）

(16) 丁四 别吵喽！有人心的，给我弄点水，洗洗脚！（《龙须沟》72）

(17) 四嫂 （迎过去）二嘎子，你上哪儿去喽？（《龙须沟》74）

(18) 赵老 哼，老四正闹脾气！又是什么还拉车去，不管咱们的臭事儿喽！（《龙须沟》74）

(19) 赵老 还用你嘱咐，前三天我就预备好喽！（《龙须沟》91）

(20) 警察 开会去喽！快到时候啦！（《龙须沟》92）

(21) 大妈（急切地）赵大爷！赵大爷！您这是怎么嘹？怎么得罪黑旋风的人呢？巡官、巡长，还让他们扎死呢，咱们就惹得起他们啦？这可怎么好嘞！（《龙须沟》32）

(22) 二春 （从外面应声）来嘹！赵大爷，我来嘹！（《龙须沟》67）

2.9 認知的順序

中国語の論理構造は「時系列（“时间顺序”：The principle of temporal sequence）」の原則に支配されていることは、夙に Tai James H-Y 1985、戴浩一（1988）によって指摘されている通りであり、定説化している。事実（存在）の順序だてとしての時系列に対して、認識の再構成とも言えるものが認知的順序である。例えば例(01)、(02)、(03)などは、時系列によって生じた事実に基づく認識を再構成し、“了₂”が新たな認知的段階への到達を提示している（機能を担う）ものと考えられる。

2.10 因果関係

時系列、あるいは認知的順序のいずれにおいても、先行する事態、事象と後行する事態、事象は、程度の差はあるものの、前後関係の連続性という観点から、因果関係を軸に据えることで“了₂”が「まとめ・結論」を導く理由を読み解くことが可能である。例えば例(23)は“因为…就…了₂”、例(24)は“因为…当然…了₂”のような呼応関係が認められる。因果関係は認知的順序に支えられている²¹。

²⁰ 老舍の主要な作品に“喽”の用例は見えず、曹禺《雷雨》にも見られなかった。ここでは崔岱遠《吃货辞典（増訂版）》から 1 例上げておくことにしたい。例えば、“生煎真是好味道。（中略）之后慢慢咀嚼那亦柔亦酥的面皮和肉汁里包裹着的鲜甜肉香、清馨葱香，还有那点点芝麻香，那个味道好吃得嘞，被打耳光也不肯放的。”（《吃货》150）

²¹ 因果関係は時系列と関係付けると、中国語の論理構造（中国語のロジック；漢民族の心的特性）を解き明かす上で有効な考え方であるとの仮説を提起できるのではないかと考える。

(23) 当初跟删祥同时进京的那些工匠大多没有他那么幸运。他们永远留在了京城里，而他们的子孙后人也就成了所谓的老北京。其实北京本来就是一座移民城市。古都不是从地里自然长出来的，而是十万工匠、百万役夫一砖一瓦盖起来的。所有的北京人也都不能说是祖祖辈辈生长于此，只不过是因为某种历史原因早几辈子迁过来，或由于某个历史事件晚几代人搬进来，住上个几代人，言谈举止间沾染上了北京的做派，也就称作老北京了。(《京范儿》76)

(24) 禄米仓、海运仓是当初的皇家粮仓。叫“仓”的胡同大多在城东，因为从大运河运来的槽粮都是从朝阳门进来的，存放槽粮的粮仓当然大都在城东了。(《京范儿》24)

2.11 前景化

中国語の情報構造を時系列の原則に基づいて、また認知的順序という観点から解釈すれば、連続的に段階を追って繰り出される情報が新情報であり、一旦提示された情報は旧情報として背景化することから、最終的な「まとめ・結論」は「前景」であると認識されるとは改めて指摘するまでもないであろう。“了₂”が句点の役割を果たすとすれば、“了₂”に先行して示される情報は「前景化」していることになる。ゆえに、“了₂”は<S+了₂>におけるSを前景化する機能を担う。例えば、

(25) 也就是在上个世纪90年代，随着大规模的城市改造，上千条胡同里十几万个大大小小的四合院，在为这座城市服务了一两百年之后，被当作危旧房彻底推平了。那些院落里曾经的居民永远离开了院子，怀着复杂的心情搬到了四环、五环以外新建小区的单元楼。四合院里特有的从容与怕然，成了永远的北京梦。(《京范儿》51页)

例(25)では<V+了₁+(O)>として“服务了一两百年”、“离开了院子”、“搬到了四环、五环以外新建小区的单元楼”、“成了永远的北京梦”が見え、単文の述部として個々に前景化しているが、事態把握の範囲はそれぞれ一つのエピソードとして独立しており、ひとまとまりの物語の「まとめ・結論」として前景化を企図する“了₂”とは前景化の範囲、ねらいが異なる。また例えば、

(26) 高碑店在元之前叫“郊亭”，按照《元史·河渠志》的记载是在元贞元年改名叫平津的。平津闸建于至元二十九年前后，也就是郭守敬开凿通州到积水潭这段运河那一年，从此这里有了码头。有了码头也就有了店铺，也就形成了热闹的集市，当地的地名由“亭”变成了“店”。日久天长，高碑店一带渐渐以漕运为生的南方移民居多了。(《京范儿》18)

例(26)は<V+了₁+(O)>形式を用い、“有了码头”、“有了店铺”、“形成了热闹的集市”、“由‘亭’变成了‘店’”など現実起こった事実を時系列に沿って提示する。個々の事実は前景化するが、個別の独立した事態として捉え、このような事態を「まとめ・結論」として示しているのが“渐渐以漕运为生的南方移民居多了”であり“了₂”の認知的機能なのである。

2.12 傍観者の俯瞰型視点

<V+了₁+(O)>は述部動詞個々の前景化を担うのに対して、<S+了₂>が担う前景化は段落(物語・エピソード)全体を視野に入れ実行されることを述べた。すなわち、<V+了₁+(O)>に対する心的走査は、事態発生時における当事者の現場立脚型視点であると考えられる²²。<S+了₂>は物語・エピソードの起点から着点(結末)までを射程に心的走査する際の視点の在り方から考えると、“了₁”とは対照的であることが分かる。“了₁”の当事者の現場立脚型視点は通常認知であるとすれば、“了₂”はメタ認知的であることとの関連性から、傍観者の俯瞰型視点という性質を有すると考えられるであろう。

2.13 存在する事態に対する観察と主観的判断

事態を物語・エピソードに仕立てる作業は、客観的事実(時系列)に基づきながら再構成する作業である。起点から始まって、最終的な「まとめ・結論」に到る論旨の組み立ては、話者の観察に基づく主観的判断の要素を排除することが出来ないゆえに、モダリティの含意と強い関連性を持つことが指摘されよう。例えば、

(27) 一个人可以把外语说得滚瓜烂熟甚至超过母语，但却很难改变娘胎里带来的饮食习惯。背井离乡久居海外的人们，最思念的或许就是小时候奶奶一勺勺喂过自己的藕粉，妈妈塞在书包里的那盒热腾腾的饺子。一个人倘若真的忘了家乡的吃食，那就真的没有了故乡。而一个民族，若是连饮食习俗都彻底改变了，也就离消亡不远了。(《吃货》序ii)

2.14 メタ認知

例(25)、(26)でも見たように、当事者として事態を見ている話者自身をも「物語・エピソード」の中に包含した視野で捉えようとする“了₂”の視点は、傍観者の俯瞰型視点であると言えるのではなからうか。このような視点の在り方をメタ認知と呼ぶことが出来るとすれば、中国語における“了₂”の機能は、話者の視点、発話の意図を理解し、また中国語の特質を測る上で重要な指針となるものと考えられる。例えば、

²² 前景化された<V+了₁+(O)>が臨場感を帯びるのは、視点が動作・行為を眼前にするかのような表現の効果が認められるからと考えられる。

(28) 北京自古有一种神奇的魔力。不管您来自天南海北，只要在这儿住久了，就能被这里的规矩和传统所融化，言行间带上京城的做派。老乐家到了曾孙子乐显扬，凭借着祖传医术和自己的悟性当上了朝廷的太医院吏目，结束了几代游方郎中的生涯。那时已是崇桢皇帝吊死煤山之后，朝廷归大清了。(《京范儿》125)

3 おわりに

本稿第2章で述べた内容をまとめると以下の表のようになる。“了₁”についての整理は拙稿(2023a)、(2023b)、(2024)を基に行ったが、意義素[±アスペクト]については稿を改め検討を行いたいと考える。持続動詞には[+アスペクト]を適用できるが、起点から着点に到るプロセスを持たない瞬間動詞の場合には[−アスペクト]を設定するとすれば、“了₁”は何を意義素として持つのか、明確にする必要があろう。郭继懋(2002)は“一个过程”と述べるにとどまり、瞬間動詞のケースについて言及していないが、「事態の進行に伴うプロセスの終結(結果への到達)」とも言うべきではないか、というのが本稿の仮説である。“了₂”の汎用的意味理解に些かでも寄与することを期待する。

	了 ₁	了 ₂
1	<V+了 ₁ +(O)>	<S+了 ₂ >
2	事態発生時現在	発話時現在
3	一まとまりの動作・行為の完結	一まとまりの事態に対するまとめ・結論
4	完結段階への到達	ある認知的段階への到達
5	段落(物語・エピソード)の中の一場面・局面、有界	段落(物語・エピソード)全体、有界
6	[+心的走査]	[+心的走査]
7	[±アスペクト]	[−アスペクト]
8	[−モダリティ]	[+モダリティ]
9	時系列的順序	認知的順序
10	ゆるやかな因果関係	因果関係
11	前景化	前景化
12	当事者の現場立脚型視点	傍観者の俯瞰型視点
13	発生した事実に対する客観的描写	存在する事態に対する観察と主観的判断
14	認知	メタ認知

例(06)“逛累了/玩儿够了”については注15で触れたが、改めて結果補語と“了₂”の

関係について整理してみることにしたい。例えば、

V+結果補語+“(了₁)+(宾语)+了₂”²³

逛(街中をあちこちら見て歩く:実現)+累(疲れている:実現)+了₂(終結)

<(歩き回った後)+(疲れている状態)+(事態の終結)>

(已然) ⇒ (已然) ⇒ (事態[存在]把握):時系列

玩儿(楽しい時間を過ごす:実現)+够(満たす:実現)+了₂(終結)

<(楽しんだ後)+(満たされている状態)+(事態の終結)>

(已然) ⇒ (已然) ⇒ (事態[存在]把握):時系列

動詞“逛”あるいは“玩儿”の動作の進行に伴って、すなわち空間的・時間的プロセスを経ることによって、“累”あるいは“够”という状態に「到達」することで、“逛”あるいは“玩儿”の動作が終結を迎える(と話者は認定する)。結果補語は動作のプロセス(状態変化)を含意し、そのプロセスが“了₂”という標識によって「終結」したことを確定、あるいは確認するのである。このように考えると、結果補語の構文的意味は、

結果補語:[+到達][+(語彙的)意味][+アスペクト]

であると規定することが出来る。

結果を表示するためには、結果補語に先行する動詞は実行されていることが前提であり、[+已然]である²⁴。動詞そのものにアスペクト性を認めることは出来ないため、動作が実行されたことによって発生する結果を表す結果補語に[構文的アスペクト性]が付与されることになる。接辞する“了”は自ずと“了₂”であると認められるであろう。結果補語は、当該語彙が選択された背景、すなわち「物語・ストーリー」を伴うことから、“了₂”との共起関係にも矛盾が無い。

本稿の主張は認知言語学の知見を中国語に適用しようと試みた現時点における仮説であるため、教学における有効性、理論的整合性を図るためにも今後継続的に修正を積み重ねて行く必要があるものと考えている。

²³ “了₁”は本来結果補語であったものが機能語化してアスペクト辞の機能を果たしていると考えられるのは、“V得了/V不了”における“了”にその痕跡を確認することが出来る。“V了”と“V完”の違いについては魯曉琨(2024)を参照されたい。“V了O”が述部として完結性を示すために数的要素を必要とを満たすべき理由が述べられている。

²⁴ アスペクト辞としての“了₁”の文法的意味は[±已然][+実行][+存在]と規定することが出来る。

4 余論：「物語・エピソード導入機能」としての<S+了₂>

三宅登之(2013:37-38)の指摘：「最初に新たな話題が導入される際には、まず“VO 了”が用いられるが、話が進行するにつれて話題は詳細な各論に進むので、途中で“V 了 O”に切り替えられるのである。」は示唆に富む記述である。

「新たな話題の導入に“VO 了”を用いる」のは、話者が「已然の事実（物語・エピソード）」を振り返り、確認して聞き手に提示する言語行為であると考えられる。刘月华・潘文娛・故韡（2019:383）が上げる例を見てみよう。

- ①下雨了，把晾的衣服收回来吧。（提醒、建议）（雨になったから、洗濯物を取り込まなくてはね：筆者訳）
- ②妈妈，我写完作业了，可以出去玩了吧？（提醒）（母さん、宿題終わったから、遊びにいつでもいいでしょ：筆者訳）
- ③西单了，有下车的请往外走。下一站天安门。（提醒）（西単に着きました。お降りの方は下車してください。次は天安門です：筆者訳）
- ④黑天了，别出去了。（劝告）（暗くなったので、外出はよしなさい：筆者訳）
- ⑤A: 约翰的中文还不太好，当不了导游。（ジョンの中国語はまだあまりうまくないので、ガイドはつとまらないね：筆者訳）
B: 他什么事情都能用中文说了，当导游没问题。（针对 A 的说法）（あいつは何だって中国語で言えるから、ガイドは問題なくつとまるよ：筆者訳）
- ⑥小张病了，我们去看吧。（引出建议）（小張が病気にかかったので、みなでお見舞いに行こう：筆者訳）
- ⑦你明年就毕业了，有什么打算？（引出问题）（君は来年卒業だけど、卒業後はどんな計画なの：筆者訳）

本稿は、<S+了₂>を因果関係における結果を表す構文スキーマであると主張する。この主張に沿って①から⑦を考えると、まず“了₂”が意味上の句点の役割を果たすと同時に S に示される已然の情報（結果）を背景化し、後件を前景化することで新たな話題、次のテーマを導いていることが分かる。次に、前件の<S+了₂>は後件に対して、原因（“既然”“因为”が含意される）を表していることが読み取れる。①から⑦はいずれも眼前の事態、もしくは近過去の事態について「何が起こったか／何が起きているか」を述べ、「物語・ストーリー」については言外の意味として、聞き手に推測させる形式を取る。

<S+了₂>が前件となって「新たな話題（物語・エピソード）が導入される」際の文法的意味は、

<因果関係における結果 ⇒ 後件の原因>

であり、提示された已然の事実が前提、根拠となって次の展開を導く因果関係の連鎖（流水文）を形成する。

“你怎么了？”は「新たな話題の導入に用い」られる典型的な<S+了₂>の例であろう。聞き手はこの問いかけに「物語・エピソード」性の回答を求められており、問いに対する納得の行く結末・結果・結論に到るまでの、なぜそうなったのかという「物語・エピソード」こそが、話者の求める「原因」なのである。前件としての<S+了₂>には「物語・エピソード導入」という談話機能が認められることになる。

	了 ₁	了 ₂
1	<V+了 ₁ +(O)>	<S+了 ₂ >
15		物語・エピソード導入機能

“了₂”をめぐるのは“変化（変化）”がキーワードとして取り上げられ、“変化（変化）”は“状態（状態）”と相対化して捉えることが出来る。“変化（変化）”、“状態（状態）”はいずれも認知、メタ認知に基づく言語化であり、「存在」を根拠にする故、「客観的」とであると考えられるが、話者の認知、メタ認知に基づくため、「主観的」という側面も持ち併せる。両者の違いは、次のように表すことが出来る。

時間 Time	T ₁	⇒	T ₂
状態 State	S ₁	⇒	S ₁
変化	S ₁	⇒	S ₂

引用書目

- 《吃货辞典(増訂版)》、崔岱远、2021 商务印书馆。《《吃货》》
 《京范儿(増訂本)》、崔岱远、2023 生活・讀書・新知 三联书店。《《京范儿》》
 《龙须沟》、老舍、1979 年人民文学出版社。《《龙须沟》》

参考文献

- [1] 大島吉郎 2021 「中国語における「状態」についての試論—「状態」をどう規定するか—」、大東文化大学大学院『中国言語文化学研究』第 10 号 (pp.11-29)。
 [2] ——— 2023a 「中国語における空間の文法化に関する研究（初稿）—“了₁、了₂”の文法的意味を中心に—」、大東文化大学大学院『中国言語文化学研究』第 12 号 (pp.89-

108)。

[3] ——— 2023b 「“了” のいる時といらぬ時」の解釈をめぐって—一心的走査の観点からの考察」、2023 年 11 月 20 日大東文化大学第 26 回学術シンポジウムレジュメ。

[4] ——— 2024 「“了₂” の認知的意味について—一心的走査の方向性を中心に」、2024 年 7 月 20 日大東文化大学第 27 回国際シンポジウムレジュメ。

[5] 熊代敏行 2013 「順次的走査 (sequential scanning)、総括的走査 (summary scanning)」、辻幸夫編 2013 『新編認知言語学キーワード事典』研究社 (pp.163-164)。

[6] 辻幸夫編 2013 『新編認知言語学キーワード事典』、研究社。

[7] 橋本陽介 2020 『中国語における「流水文」の研究』、東方書店。

[8] 三宅登之 2013 「アスペクトマーカ―と図地文化—“了” “着” の前景化と背景化の作用について—」、大東文化大学院中国言語文化学専攻『中国言語文化学研究』第 2 号 (pp.30-49)。

[9] 宮崎和人・安達太郎・野田春美・高梨信乃 2002 『モダリティ 新日本語文法選書 4』、くろしお出版。

[10] 魯曉琨 2024 「“V 了” と “V 完”」、『中国語の環』第 125 号 (pp.13-14)。

[11] 戴浩一 1988 时间顺序和汉语的语序 (黄河译)、《国外语言学》第 1 期 (pp. 10-20)。Tai James H-Y 1985 “Temporal Sequence and Word Order in Chinese” Iconicity in Syntax, ed. by John Haiman, 49-72, John Benjamins Publishing Company, Amsterdam/Philadelphia

[12] ——— 2011 再论时间顺序原则、崔希亮主编《认知语法与对外汉语教学论集》、北京语言大学出版社 (pp. 65-85)。

[13] 范晓蕾 2021 《普通话“了₁” “了₂”的语法异质性》、北京大学出版社。

[14] ——— 2024 谈分析“了”的方法理念、《当代语言学》第 1 期 (pp. 116-138)。

[15] 郭继懋 2002 “了₁”与“了₂”的差异、《似同实异：汉语近义表达方式的认知语用分析》、中国社会科学出版社 (pp. 169-191)。

[16] 刘勋宁 1989 现代汉语词尾“了”的语法意义、《中国语文》第 5 期 (pp. 321-330)。

[17] 刘月华・潘文娒・故韡 2019 《实用现代汉语语法 (第三版)》、商务印书馆。

[18] 吕叔湘主编 1999 《现代汉语八百词 (增订版)》、商务印书馆。

[19] 马希文 1983 关于动词“了”的弱化形式 / ·lou / 、《中国语言学报》第 1 期 (pp. 1-14)。

[20] 邵洪亮 2023 《助词“了”》、北京语言大学出版社。

[21] 沈家煊・王伟 2023 读赵元任讲“了”——纪念赵元任诞辰 130 周年、《中国语文》第 6 期 (pp. 643-657)。

[22] 王 伟 2021 《说“了”》、学林出版社。